

# ATC 実験室の利用状況 について

副センター長 尾崎正伸

2024-09-24

# 「実験室運用規定」

2024-01-25 制定、全ユーザーを対象

- 以下の方針に基づき、割り当ての可否を検討
  - 国立天文台が推進する大プロジェクト（ATCの年度組織目標に記載のプロジェクト）であるかどうか
  - プロジェクト間のバランス
    - 既に多数の実験室を占有しているプロジェクト・個人からの申請があった場合には、なるべく現在利用している実験室を調整してもらう。
  - 優先順位：ATC、ATC外の国立天文台職員、外部
- 実験室運用委員会は利用期間終了の1年前には途中経過報告会を実施する。

# 困っていること（その1）

## 「場所の枯渇」

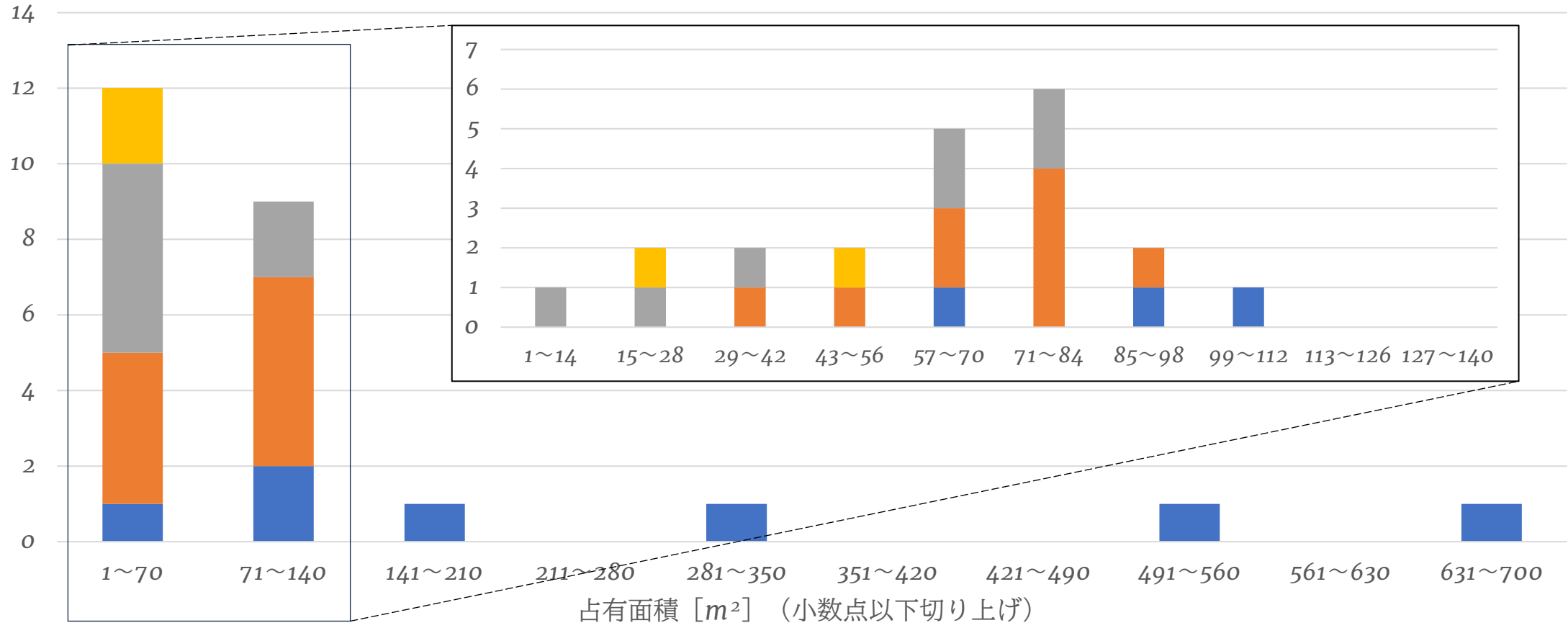
利用申請に対して、割り当てられる実験室がもう無い

⇒ 対策検討

- 当初目的外に無断転用されている場所はないか
- ATC の目的にそぐわない外部利用はないか
- 物置きと化している場所はないか

# 割当の現状

利用グループ毎の占有床面積の分布



■ 天文台プロジェクト ■ ATC ■ 天文台内 ■ 天文台外

# 今後の実験室割り当て方針

ATC の存在意義（高度な開発・工作サービスの提供・支援）と  
実験室運用規定に立ち返る

1. まず、現状は尊重する。
2. その上で、
  - 台外には「単なる場所貸し」はこれ以上行わない
  - 有期制の徹底（延長申請はできます）
  - 利用状況に応じて割り当てのスリム化を支援
  - 既得権益（当初目的外転用など）の整理  
などを時間をかけて実施

# 困っていること（その2）

「所有者・所掌不明物の存在」

実は、明示的に割り振っていない部屋に「持ち主不明」  
「要否不明」な荷物が多数存在しています。

- 古いアクティビティの放置物？
- 転出者の荷物／機材？
- 退職者の放置物？

近いうちに処分を始める見込みです。心当たりのある方は回収を  
お願いします。開始時にアナウンスはするでしょうが... ..

# 片付け協力の呼びかけ

未割振り部屋だけでなく、ユーザーに貸し出している部屋でも非効率的な使用が散見されます

- 床一面への未使用機材の展開など。

できるだけ積極的に棚等を導入して、使用面積の削減に御協力下さい。